

取組 27 環境教育の推進

○ 現状

今日、地球上では環境破壊につながる様々な問題が生じており、環境問題に対して緊急に対処しなければならないという認識が高まっています。このような状況のもと、環境問題や環境保全に主体的にかかわる能力や態度を育成するためには、環境教育がますます重要になってきています。

(小中学校における環境教育)

- ・すべての学校で、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動等で環境教育にかかわる内容を実施しています。特に、総合的な学習の時間での実施率は、県内の公立小学校で94%、中学校で75%です。(平成19年度公立小・中学校における教育課程の編成・実施状況調査)
- ・本県では、平成20年3月に各学校で行われている環境教育を見直すポイントや各教科等における指導事例を記載した冊子「見直しましょう環境教育」を作成・配布し、環境教育の一層の推進や充実を図っています。

(県立高校での環境教育)

- ・すべての学校で、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動等で環境教育にかかわる内容を実施するなど、学校の教育活動全体を通して、環境問題の解決に必要な能力を育成しています。特に、工業系・農業系の専門高校では、自然や環境に配慮した持続可能な循環型社会の形成者として必要な資質を育成しています。
- ・前橋工業高校では、環境マネジメントシステム (ISO14001) の構築と運用及び継続的な改善とその登録認証を通して、教育活動や学校生活の諸活動において、環境負荷低減、循環型社会の構築など、地球環境保全に主体的に取り組んでいます。
- ・尾瀬高校では、「自然との共生」を図ることのできる人づくりをめざして、平成8年に自然環境科を新設し、自然を知り、環境を保護する実践的な能力や態度を育成しています。



(尾瀬高校・自然環境科の授業の様子)

【群馬県環境教育賞】(平成20年度から群馬銀行環境財団教育賞として実施)

平成5年度から優れた環境教育を実践している学校を表彰するとともに、最近の最優秀賞を受賞した学校の事例は、総合教育センターのホームページに掲載し、他の学校への成果の普及を図っています。



「地域の自然から学ぶ環境学習」の様子
伊勢崎市立境剛志小学校
(H19小学校最優秀賞)



「紙リサイクルプロジェクト」の様子
藤岡市立北中学校
(H19中学校最優秀賞)



「世界遺産への道～地域に広がる活性化～」運動の様子
県立富岡実業高校
(H19高校最優秀賞)

○ 課題

- ・各教科や道徳、特別活動、総合的な学習の時間に学校の創意工夫による環境学習が行われるようにすること
- ・環境教育の優れた実践事例を蓄積し、広く紹介すること
- ・環境問題に関する専門的な知識と児童生徒への指導力を備えた教員を養成すること

○ 取組の方向

- ・各教科や総合的な学習の時間等における環境教育を総合的に推進します。
- ・環境教育の優れた実践事例を蓄積し、授業を改善・充実します。
- ・工業系・農業系の専門高校においては、自然や環境に配慮した持続可能な循環型社会の形成者として必要な資質を育成します。
- ・尾瀬高校自然環境科における先進的な環境教育の成果及びその手法を広く県内外に紹介します。
- ・環境教育に係る研修等を実施し、環境教育を担う教員を養成します。

○ 主な事業の概要

事業の概要	担当部署
<ul style="list-style-type: none">・ 環境学習の充実・普及 各学校における環境教育を推進します。 環境教育に係る教科・科目等における優れた実践事例の蓄積により、授業の改善・充実を図ります。 県内各学校における環境学習に関する特色ある取組を紹介します。 環境学習を支援できる関係機関や外部人材を紹介します。	義務教育課 高校教育課
<ul style="list-style-type: none">・ 環境教育研修講座 各学校で環境教育を効果的に推進できる教員を養成します。	総合教育センター

○ 達成目標

目標の概要	基準年度の状況 (H20)	目標年度の状況 (H25)
<ul style="list-style-type: none">・ 環境に関する体験活動等を実施している小中学校の割合	—	100%
<ul style="list-style-type: none">・ 節水や節電、ゴミの分別を意識できる生徒の割合	—	90%
<ul style="list-style-type: none">・ 尾瀬学校に参加して、自然を守ることや環境問題に興味をもったと回答する児童生徒の割合 (尾瀬学校アンケート)	70%	80%以上